令和三年学力検査

全日制課程　B

第一時限問題　国語

検査時間　九時十分から九時五十五分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注　意

(一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。

(二) 「解答始め」という指示で、すぐ受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。

(三) 問題は(1)ページから(9)ページまであります。(9)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。

(四) 答えは全て解答用紙の決められた欄に書きなさい。

(五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。

(六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号
第　　番

国語

一　次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

1

2

著作権に配慮して掲載を控えています

3

4

著作権に配慮して掲載を控えています

6　5

著作権に配慮して掲載を控えています

（平山郁夫『絵と心』による）

（注）○ 1 ～ 6 は段落符号である。
○点景＝風景画などで、趣を出すために風景の中に取り入れられた人物や動物など。
○琳派＝江戸時代の絵画の一流派。
○顔料＝水に溶けない性質の絵の具。土や貝殻を粉砕したものなどがある。
○岩絵の具＝顔料の一つ。鉱物から作る絵の具。
○南画＝中国山水画の一つで、日本では江戸時代中期頃からその影響を受けて描かれるようになったもの。
○印象派＝十九世紀後半にフランスで起こった芸術の流派。
○キュービスム＝二十世紀初めにフランスで起こった芸術運動。
○希求＝願い求めること。
○不即不離＝二つのものが、つきもせず離れもしない関係を保つこと。

（一）① 空間の捉え方 について、ヨーロッパの絵画と東洋画および日本画の違いを説明したものとして最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　ヨーロッパの絵画がそこにあるものを見えるとおりに描くのに対し、東洋画や日本画には空間を埋め尽くすという考え方がない。

イ　ヨーロッパの絵画が風景を象徴的に描くのに対し、東洋画や日本画には空間を可視的なものによって処理するという発想がない。

ウ　ヨーロッパの絵画が目に見えるもの全てを描くのに対し、東洋画や日本画には背景は空白のままがよいという美意識がある。

エ　ヨーロッパの絵画が遠くのものも細部まで描くのに対し、東洋画や日本画には必要のないものは描かないという合理的な面がある。

(二) 〔A〕、〔B〕にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 〔A〕つまり　〔B〕しかも
イ 〔A〕つまり　〔B〕だから
ウ 〔A〕ところが　〔B〕しかも
エ 〔A〕ところが　〔B〕だから

(三) 筆者は第三段落で、日本の絵の特徴について述べている。それを要約して、六十字以上七十字以下で書きなさい。ただし、「顔料」、「特色」、「二次元の世界」という三つのことばを全て使って、「日本の絵は、……」という書き出しで書き、「……特徴がある。」で結ぶこと。三つのことばはどのような順序で使ってもよろしい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。
・文は、一文でも、二文以上でもよい。
・下の枠を、下書きに使ってもよい。ただし、解答は必ず解答用紙に書くこと。

(四) ②そうはならなかった とあるが、その理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 絵画の材料は絵を描く技術と密接なつながりがあり、日本人は自分たちの技術に合わない材料を受け入れられなかったから。
イ 絵画の材料は民族性や宗教、生活などと深い関わりがあり、日本人は自分たちの心になじむ材料を自然に選んでいたから。
ウ 油絵の具やキャンバスはヨーロッパの絵画に適したものであり、日本の絵の性格に合う材料となるには時間が必要であったから。
エ 油絵の具やキャンバスはヨーロッパの精神と関係の深いものであり、当時の日本人は魅了されつつも使いこなせなかったから。

(五) 次のアからオまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア ヨーロッパの絵画における三次元への志向が根本から変化したのは、日本の様式化された絵の影響を受けたためである。
イ 日本の伝統的な絵画が自然を象徴的に描くようになったのは、自然の三次元的な実在感を描こうとしたためである。
ウ 日本人が自国の文化とヨーロッパの文化を融合させることができたのは、日本古来の文化を破壊しなかったためである。
エ 明治以降に油絵が普及したのは、明治の日本人が技術だけでなく思想や文化までヨーロッパから導入したためである。
オ 中国や日本の山水画が宇宙のひろがりや生命の美しさを写実的に描いたのは、東洋に共通する美意識があったためである。

日本の絵は、

70　60

(六) 次の文章は、ある生徒が本文の内容に触発され、自分で調べたことをまとめたものであるが、文の順序が入れ替えてある。筋道が通る文章とするために**ア**から**オ**までを並べ替えるとき、二番目と四番目にくるものをそれぞれ選び、そのかな符号を書きなさい。

ア 具体的には、米をすりつぶして水を混ぜただけの真っ白な絵の具と竹を削ったペンを用いて、赤土を塗った壁に描きます。素朴でのびのびとした画風が特徴だと言われています。

イ 一九七〇年代から、ワルリー画は、インド政府の勧めによって紙にも描かれるようになりました。それによって持ち運びができるようになり、美術館での展示が可能になりました。

ウ ワルリー画は、もともとはインドの先住民族のワルリー族によって描かれた壁画です。神話や物語などを題材に、線描や三角形、円などの単純な形を組み合わせて描くのですが、用いる材料は、彼らの身近にあるものばかりです。

エ ワルリー画の魅力を世界の人々が身近に感じられるのはよいことだと思いますが、材料が壁から紙に変わることによって、ワルリー族の人々の文化観や価値観に何か影響があったのではないかと想像します。この点については、もう少し調べてみたいと思います。

オ この文章を読んで、私は絵と材料の関係に興味をもちました。世界にはほかにどのような例があるか調べてみたところ、ワルリー画という絵があることを知りました。

二 次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 僕たちは、最後の大会で悲願の優勝を遂げた。

② 春の陽気に包まれながら、野山をサンサクする。

(二) 次の文中の〔 ③ 〕にあてはまる最も適当なことばを、あとの**ア**から**エ**までの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

すばらしい演奏を聴き、感動の余韻に〔 ③ 〕。

ア 沈む　**イ** 浸る　**ウ** 注ぐ　**エ** 浮かぶ

三　次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

〔本文にいたるまでのあらすじ〕

東京の中学校を卒業した川嶋有人は、訳あって親元を離れ、叔父が医師として赴任している北海道の離島にある照羽尻高校に進学した。六月、水産実習の授業の一環で、島の名産のウニを物産展に出品することになり、斎藤誠、東村桃花、八木陽樹（ハル先輩）、野呂涼（涼先輩）とともにディスカッションを行ったが、有人は思うようにアイデアを出すことができなかった。二度目のディスカッションが行われた日の放課後、有人はウニを分けてくれるという誠の家を初めて訪れた。

〔本文〕

1

著作権に配慮して掲載を控えています

2

著作権に配慮して掲載を控えています

3

著作権に配慮して掲載を控えています

5

4

著作権に配慮して掲載を控えています

（注）
○ 1～5は段落符号である。
○ 沓脱（くつぬぎ）＝玄関や縁側などの上がり口にある、はきものを脱ぐところ。
○ ステテコ＝膝の下まであるゆったりとした男性用の下着。
○ ラフ＝くだけたさま。
○ 鮭（さけ）とば＝棒状に切った鮭の身を塩水につけ、乾燥させた食品。
○ リスペクト＝尊敬する気持ち。
○ 恰幅（かっぷく）＝体つき。
○ ペースト＝食材をすりつぶし、柔らかく滑らかにした状態のもの。
○ ミョウバン＝食品添加物。食品の形状保持などに使用される。
○ シミュレーション＝ここでは、実際の場面を想像して練習すること。
○ 魚醤（ぎょしょう）＝魚介類を塩漬けにして発酵・熟成させて出てくる汁をこして作った調味料。
○ 茶々＝人の話の途中で割り込んで言う冗談。
○ 恵比須（えびす）＝七福神の一つ。にこにこした顔つきのことをえびす顔という。

（一）①思いがけなくも破顔した　とあるが、その説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　叔父の評価が高いことがわかってうれしく思った有人だったが、予想外に誠の父は複雑な表情をしたということ
イ　叔父のおかげで自分が受け入れられたことに胸をなで下ろした有人だったが、思いのほか誠の父が厳しい表情をしたということ
ウ　この島では叔父と比較されているのかと不安を感じた有人だったが、意外にも誠の父はにこやかに笑ったということ
エ　島での叔父に対する評価が気になっていた有人だったが、予想に反して誠の父がおだやかに笑ったということ

（二）②誠の父　の人物像の説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　漁師という仕事に携わっているという誇りから、他人にも妥協を許さない人物
イ　漁師という仕事を継いだことに宿命を感じており、いちずな性格で納得するまでやり抜こうとする人物
ウ　漁師という仕事に自信をもちながら、危険と隣り合わせの恐怖を隠そうと強がっている人物
エ　漁師という仕事に自負心をもっており、飾らない人柄で他人への思いやりがある人物

（三）第二段落における有人の心情を説明したものとして適当なものを、次のアからオまでの中から二つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　誠の両親があれこれと世話を焼いてくれ、自然とそのペースに巻き込まれていることに戸惑いを覚えている。
イ　誠の両親がさりげなく気を遣ってくれるおかげで、人と接することが苦手だったのにうちとけてくつろいでいる。
ウ　誠の両親がどんどんごちそうを出してくれるが、うまく感謝の気持ちが伝えられないことをもどかしく思っている。
エ　誠の両親とのやりとりを通じて家族との生活を思い出し、東京で過ごした頃をなつかしむ気持ちになっている。
オ　誠の両親の歓迎にわずらわしさを感じながらも、家族の一員のように接してくれることを素直に喜んでいる。

(四) 次の一文が本文から抜いてある。この一文が入る最も適当な箇所を、あとのアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

だったら、加工を逆手に取るのはどうかと提案したのだった。

ア 本文中の〈1〉　イ 本文中の〈2〉
ウ 本文中の〈3〉　エ 本文中の〈4〉

(五) 次のアからカは、この文章を読んだ生徒六人が、意見を述べ合ったものである。その内容が本文に書かれていることに近いものを二つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア（Aさん） 第一段落から第二段落にかけて、誠の家の茶の間の様子が描写されています。片づけられていない雑然とした部屋の様子からは、有人の訪問が本当は歓迎されていないことがわかります。

イ（Bさん） 第三段落では、有人が自分の意見を発表しています。会話文の中で多く使われている「……」からは、有人が慎重にことばを選びながらも、自信をもって発言している様子がわかります。

ウ（Cさん） 第四段落には、さまざまな個性をもつ生徒が出てきます。誠は、ディスカッションの流れを常に意識していて、話の方向を修正して適切な話題を提供できる、とても機転のきく人だと思います。

エ（Dさん） 私は、涼先輩に着目しました。前向きな発言で周囲の雰囲気を明るくする快活な人だと思います。また、自分の考えを伝えつつ、周囲にも積極的に働きかけることのできる人だと思います。

オ（Eさん） 私は、ハル先輩が気になります。自分の経験にこだわって周囲を納得させようとするところはあるけれど、話題がそれていかないように順序立てて整理できる冷静な人だと思います。

カ（Fさん） 第五段落では、「おまえじゃなきゃ」という誠のことばを聞いて胸を高ぶらせる有人の内面が、比喩を用いて効果的に表現されています。誠のこの一言が、有人に自信を与えるきっかけになりそうです。

四 次の漢文（書き下し文）を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。（本文の ------ の左側は現代語訳です。）

冬、晋荐りに饑う。糴を秦に乞はしむ。秦伯、子桑に謂ふ、「諸を与へんか。」と。対へて曰はく、「重く施して報いば、君、将た何をか求めん。重く施して報いずんば、其の民必ず攜れん。攜れて討たば、①衆無くして必ず敗れん。」と。百里に謂ふ、「諸を与へんか。」と。②対へて曰はく、「天災の流行するは、国家代はるがはる有り。災を救ひ隣を恤むは、道なり。道を行へば、福有り。」と。丕鄭の子、豹、秦に在り。晋を伐たんことを請ふ。秦伯曰はく、「③其の君是れ悪しきも、其の民何の罪かある。」と。秦是に於いて、粟を晋に輸す。

（『春秋左氏伝』による）

（注）
- ○晋、秦＝ともに、春秋時代の国名。
- ○秦伯＝秦の君主。
- ○子桑、百里＝秦の家臣。
- ○丕鄭＝晋の家臣。晋にむほんを起こして殺された。
- ○豹＝父の丕鄭が殺された後、秦に亡命した。
- ○粟＝穀物。

昨年に続き不作であった
秦に（使いを送り）米を送るよう願い求めさせた
言った
お答えして言うことには
おおいに恩恵を施して晋がその恩に報いたら
何も求めることはないでしょう
離れるでしょう
人の行うべき道である
願い出た

(一) ①衆無くして必ず敗れん とあるが、子桑がこのように述べた理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 晋の民の多くが飢え、命を落としてしまうと考えたから。
イ 晋の民が秦の侵攻を恐れ、逃亡するに違いないと考えたから。
ウ 晋の君主が民の信頼を失い、味方がいなくなると考えたから。
エ 晋の君主が民に重税を課し、国中で不満が高まると考えたから。

(二) ②対へて曰はく とあるが、百里は誰に対してどのようなことを言っているか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 子桑に対して、秦の民にこそ米を与えるべきだと言っている。
イ 子桑に対して、秦は晋に恩返しをするべきだと言っている。
ウ 秦伯に対して、秦も災害に備えるべきだと言っている。
エ 秦伯に対して、秦のために晋を援助するべきだと言っている。

(三) ③其の君是れ悪しきも、其の民何の罪かある の現代語訳として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 晋の君主が悪人でも、民には少しの罪もない
イ 晋の君主が悪人なら、民もまた同罪である
ウ 秦の君主が悪人でも、民に罪を着せることはしない
エ 秦の君主が悪人なら、民にも多少の罪はある

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 豹は、父の恨みを晴らすため、不作で苦しんでいる晋に攻め入った。
イ 百里は、災害時でも、国益を優先することが人の道だと言った。
ウ 子桑は、晋が必ず恩を返すので、米を送るべきだと助言した。
エ 秦伯は、豹の願いを退け、人の道を重んじる家臣の意見に従った。

（問題はこれで終わりです。）

令和三年学力検査　解答用紙　全日制課程B

第一時限　国語

一

(一)

(二)

(三)

日本の絵は、

70　60

(四)

(五)

(六)

二番目（　　）四番目（　　）

※一　1点×4　2点×2

二

(一)

①

げた

②

(二)

③

※二　1点×3

三

(一)

(二)

(三)

（　　）（　　）

(四)

(五)

（　　）（　　）

※三　1点×3　2点×2

四

(一)

(二)

(三)

(四)

※四　1点×4

受検番号	第　　番
得点	※

（注）※印欄には何も書かないこと。

第１時限　国語正答　全日制課程　B

一

(一)	ア
(二)	ウ
(三)	日本の絵は、紙や絹に顔料や岩絵の具で描く平面的な絵なので、線と面でいかに独自の特色を出すかという二次元の世界での工夫に特徴がある。
(四)	イ
(五)	エ
(六)	二番目（ウ）四番目（イ）

70　60

二

(一)	① と（げた）
	② 散策
(二)	③ イ

三

(一)	ウ
(二)	エ
(三)	（ア）（オ）
(四)	イ
(五)	（エ）（カ）

四

(一)	ウ
(二)	エ
(三)	ア
(四)	エ